

# 県ナシ現地研修会

## 木津・二本木地区で開催

さる七月二十四日、県果樹振興協会・県経済連主催による、第十六回県ナシ現地研修会が本村を会場に開催されま



現地視察で説明する園主

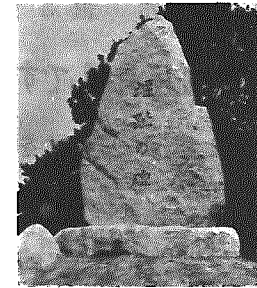
この冬の豪雪で、樹木の損傷や棚の崩壊などの大きな被害を受けた村内ナシ園ですが、栽培農家や関係者の懸命な努力により、雪害を克服しての今回開催となったものです。当日は、県内ナシ栽培農家約二百五十人の参加があり、午前八時、二本木の井越アヤ子さん(二十世紀)仲村忠雄さん

# 藤山の生産と生活に恩恵

## 堰跡をしのび石碑建立

藤山地区の生産と生活に、切っても切り離すことのできないほど大きな役割を果たした堰跡に、その恩恵をしのび歴史を後世に伝えようと、今年早々より建立委員会(委員長 長串田宗男さん)を発足、準備を進め地元住民の寄付によって記念碑を建立し、八月四日に藤山会館で藤山地区の人が集まり祝賀会が行われまし

この記念碑は、御影石(たて二〇センチ、よこ一五〇センチ)に伊藤芳夫さん揮毫の「堰跡の碑」と碑文(田村忠雄さん選文)が彫られています。堰は慶安四年、今より三三七年前、丸山村の善之丞が新田開発に関連して掘削りがあつたといわれています。大正



十三年、従前の木造をコンクリート造りに改築され、昭和二十三年の秋、亀田郷乾田化計画に伴い撤去されるまで、この堰の操作によって堀に水を湛え農業と生活用水に供しまた排水ともなつたという。

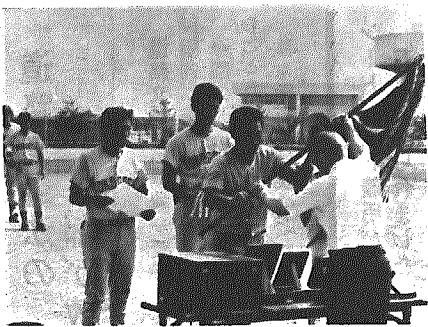
何時の頃よりか、村の人々はこれを「堰場」と呼び親しんできました。記念碑は、現在の横越排水路の藤見橋から五十メートル程下つたところに建てられています。この日、祝賀会に出席した地元の人たちは、子供の頃の水遊び場、あるいは懐かしい親しみ深い場としての堰場の思い出話に花を咲かせていました。また、碑建立を機に堰場の起原を尋ね歩き、堰にまつわる話を編集した碑建立記念誌「セキバ」が、田村忠雄さんによって自費出版されました。

# 沢海 初の栄冠

## クラブ初の栄冠

### 第4回壮年野球大会

第四回壮年野球大会(体育協会主催)が八月十八日、横小・横中グラウンドで開催され、沢海クラブが前年の覇者マドワーズを逆転で取り初優勝をしました。壮年野球大会は、四十歳以上が資格要件、参加七チームのうち最



優勝旗を受ける農協チーム

さる七月二十一日、二十八日に行われた昭和六十年年度村民野球大会は、横越農協が三回目の優勝を飾り大会の幕を閉じました。今年の大会は、三十一チームが出場、炎天のもと熱戦が繰り広げられてきましたが、準決勝には同大会優勝実績のあるウルフ・横越農協・二本木クラブ、それに昨年早起き野球

# 村民野球会

## 大

# 横越農協三回目の優勝

# 早起き野球大会につぐ連覇

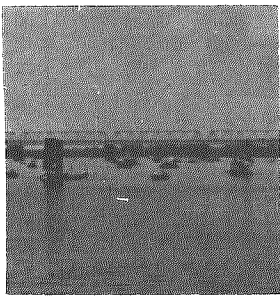
で優勝している沢海好球クラブがそれぞれ順当に勝ち進んできました。決勝は横越農協と二本木クラブが対戦、農協の原投手の好投により最終回の二本木の追い込みもおよばず、農協が六対三で勝ち優勝しました。

- 成績は次のとおり。
- 優勝 横越農協
  - 準優勝 二本木クラブ
  - 三位 沢海好球クラブ
  - 三位 ウルフ(沢海)
  - 最優秀選手賞 原 邦夫(横越農協)
  - 優秀選手賞 残間 衛(横越農協)
  - 敢闘賞 大島孝信(二本木クラブ)

# 阿賀野川自作の舟下りレース

## 村内から7隻参加

国際青年年にあたり、地域おこし青年活動の一環として取り組まれた第一回阿賀野川自作の舟下りレースが(同実行委員会主催)八月四日、阿賀野川を舞台に開かれました。製作アイデアとスピードを競うもので、近隣市町村から五十二チーム(村内七チーム)が出場し、大自然に挑みエネルギーを発散させました。レースは、沢海床止めから新潟市の松浜橋まで延長十五キロのコースで、午前九時にスタート、川沿いに大勢集まっ



特別アイデア賞獲得 沢海若衆連 木遣号

# 9月15日に五会場で敬老会

九月十五日は敬老の日、村内五会場でお年寄りの長寿を祝う行事が予定され、八四〇人余りが招待されます。

長寿ベストテン	(S60・8・20現在)
清野 ヒノ	95歳 沢海上
遠藤 東吉	91歳 小杉中
原 マツノ	91歳 二本木中
南場 トミ	90歳 木津上
五十嵐 タミ	90歳 沢海中
阿部 春吉	90歳 木津中
茅原 フジ	90歳 横越下
岡 イシノ	90歳 横越上
今井 ムメ	88歳 小杉上
坂井 俊治	88歳 小杉下

# 農地の無断転用は絶対にやめましょう

最近無断で埋立や農地を農地以外に使っている方が見受けられますが、農地を農地以外に使用する場合、農業委員会へ「届出」または、申請をし県知事の「許可」を受けてからでない転用することはできません。許可、届出をしないで無断で農地以外に使用すると、農地法違反で厳しく罰せられます。農地転用する際はかならず農業委員会への申請、届出を忘れずに行い、無断転用は絶対にやめましょう。また、転用の許可を受けて埋立したまま放置している人がおりますが、雑草などが繁

は海風によって行く手を阻まれるという状態、各チームとも悪戦苦闘を強いられました。ゴールまでたどりついた舟が二十隻、審査対象の午後三時までにゴールした舟が十二隻というなかで、三時間二十四分で紫聖丸(聖龍町)が優勝。村内から出場した沢海若衆連ホワイトシャーク号が三時間四十分で三位に、赤城丸(二本木)が四時間二十二分で七位に入りました。また、八位でゴールした沢海若衆連木遣号が特別アイデア賞を獲得しました。

過日、亡くなられましたが角田夏男氏のご遺族角田キミさんは、角田夏男氏が生前村民の皆様から御交誼をいただいたことに対する感謝の気持ちから、香典返しとして二十万円を村に寄付されました。村では福祉事業に活用されるようにと横越村社会福祉協議会に伝達いたしました。村社会福祉協議会ではご厚志を遺族の意志に沿うよう役立たせたいと感謝しています。

# 新潟高等職業訓練生募集

- 普通訓練課程(高卒程度)
- 一、訓練科目(期間1年)
  - 電子機器科 定員20名
  - 電気施設科 定員30名
  - 自動車整備技術科 定員30名
  - 測量科 定員30名

応募条件 高校卒業又は、これと同等以上の学力を有する人。ただし、両眼の視力が0.3以下の人、心身に障害があり訓練に支障があると認められる人は受験できません。

一、応募方法 入校願書をもよりの公共職業安定所を経由して職業訓練校に、9月2日から30日までの間に提出。  
一、選考日 10月14日(月) 午前9時  
新潟高等職業訓練校(新潟市鏡西一丁目) 電話(77361番)  
一、選考方法 国語(I)、数学(I)の学科試験と面接

# 障害者集団選考会開催のご案内

心身に障害のある方々の雇用促進のために、新潟公共職業安定所の主催で、事業主と求職者との見合い方式による集団選考会を左記により開催いたします。事業主の皆様は、障害者の雇用について一層の御協力をお願いいたします。多数の御参加をお待ちしています。なお、公共職業安定所では、「心身障害者求職者情報」を作成しましたので御利用ください。参加申し込みは、八月一日から受け付けています。

○開催日時 九月十二日(木) 午後一時三十分 から四時まで

○会場 新潟市社会福祉センター 五階  
新潟市八千代一丁目 五番十四号  
参加申し込み及び詳細問い合わせ 新潟公共職業安定所 求人第一部門へ  
電話(三三二)401311 (内線三二・三三二)

# 新潟都市計画区域における区域区分の変更に関する公聴会の開催

新潟都市計画区域における市街化区域及び市街化調整区域の区域区分の変更を行うにあたり公聴会を開催しますのでお知らせします。

1. 日時 昭和60年9月29日(日) 午後1時から
2. 場所 県庁西回廊講堂 新潟市新光町4番地1

※詳細については役場建設課へ問い合わせください。

9月の納税  
固定資産税3期  
国民年金  
保険料3期  
納期まで忘れずに納めましょう